

株式会社三輪タイヤ

京都府京都市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

お客様車両の安全で円滑な運行を経済面と環境面を考慮しながら支援するタイヤサービスと特殊車両を提供

- タイヤ販売や交換等に関し、タイヤサービスカーで客先訪問して顧客負担を軽減し、顧客満足度を向上
- タイヤサービスカーに搭載する発電機や電源システムは当社が中小電機メーカーと共同で自主開発した
- タイヤサービスカーで蓄積した技術ノウハウを活かして、新たに特殊用途自動車の事業化に取り組む

企業基本情報

所在地	京都府京都市山科区小野鐘付田町10-2
電話/FAX	075-571-2476/075-573-3394
URL	http://miwa-tire.com/
代表者	代表取締役 三輪 智信
設立	1975年
資本金	1,000万円
従業員数	20人



会社概要

1975年会社設立。2003年創業者の父から社長交代。2005年にタイヤサービスカーによる出張訪問販売に軸足を移動し、独自のビジネスモデル（Mobile Tire Service）を構築し、経営革新計画を承認。同年にタイヤサービスカーの製造・販売を目的に㈱モビリティプラスを設立。2009年に滋賀県栗東に営業所開設。2011年には、独自の車両発電・電源システムシステムを活用した特殊車両の製造・販売で2回目の経営革新計画を承認。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

独自の出張タイヤサービスカーを開発し、顧客満足向上で需要拡大

同社の独自サービスモデルとして、出張によるタイヤ販売・サービスを行っている。通常は店舗作業で使用するエアコンプレッサー、タイヤチェンジャー、ホイールバランス等々のタイヤ整備機器と、これらを稼働させる発電装置をトラックに搭載したタイヤサービスカーを1993年に同社開発して事業展開し、現在は当社の主要事業となっている。

顧客先の都合に合わせて当社から出向く作業が好評であり、顧客満足向上と売上利益増加に寄与している。



タイヤサービスカーの内装

タイヤサービスカーに搭載する発電機や電源システムを自主開発

タイヤサービスカー開発に際し、搭載する整備機器を稼働させる発電システム「Trure-Gシステム」（走行用エンジンに直結した小型小容量の発電機を用いて走行しながら発電するシステム）を自主開発した。また、エンジン停止中に給電できるような蓄電装置（バッテリー）を装備できるシステムである。これによって、大きく重い発動発電機を搭載しなくてもよく、荷台を他の作業や用途に活用できるようにしている。本仕組みによる車両は、特許も取得している。



特殊用途自動車の例

タイヤサービスカーの技術ノウハウを活かし特殊用途自動車を事業化

タイヤサービスカーのノウハウを活せる新規事業として電気自動車の電欠対応の需要可能性を検討していたが、電気自動車以外の用途にて、特殊用途自動車（地震体験車、検査測定車、オイル輸送車、電気自動車を輸送するキャリアカー等）の事業可能性が見えた。そこで、更に車両開発と事業企画を進め、当初のタイヤサービスカーのコア技術を活かしつつ、各顧客のカスタム仕様に応じた各種特種用途自動車（Q電丸シリーズ）の新規事業を開始した。



小型超低床レントゲン車